

白石市「幼保小の架け橋プログラム」

接続(アプローチ) カリキュラム



(基本モデル)

生活をつなぐ

活動名	頁
☐ 手洗い・うがいをする	1
☐ 歯磨きをしよう	2
☐ 排泄の仕方を身に付けよう	3
☐ 衣服の着脱をしよう	4
☐ 服のたたみ方・入れ方を確認しよう	5
☐ ロッカーの整理をしよう	6
☐ 靴の履き方・脱ぎ方・揃え方	7
☐ あいさつをしよう	8
☐ 箸を正しく持って使ってみよう	9
☐ 食事のマナーを覚えよう	10
☐ 生活リズムを整えよう	11
☐ 時計をみて生活しよう	12
☐ 指先を使って遊ぼう	13
☐ 交通ルールを意識しよう	14

人をつなぐ

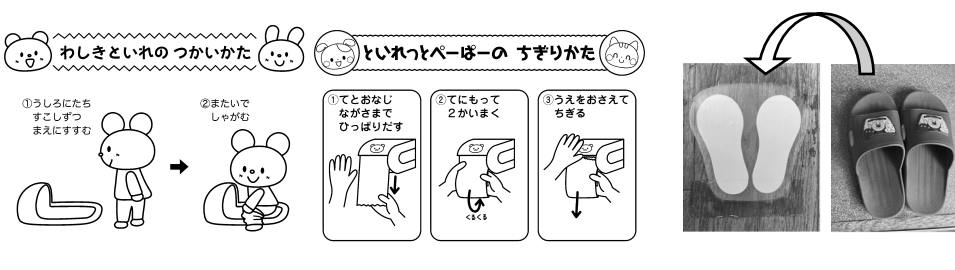
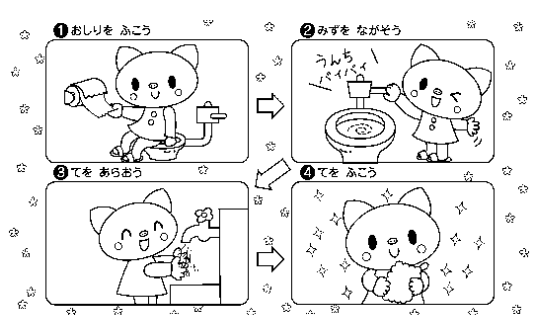
活動名	頁
☐ 名人さん・名物を探そう	15
☐ 小学校ってどんなところ①	16
☐ ハロー!ワーク(ジョブ)	17
☐ 地域の人と行ったり来たり	18
☐ みんなで遊ぼう リレーごっこをしよう	19
☐ みんなで遊ぼう わらべうたをしよう	20
☐ 発表会の準備をしよう	21
☐ 地域の人と一緒に昔遊びをしよう	22
☐ 小学校ってどんなところ②	23
☐ 小学校ってどんなところ③	24

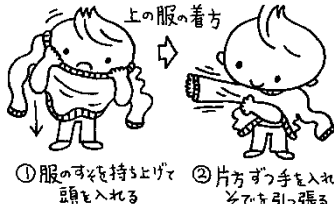
学びをつなぐ

活動名	頁
☐ 種をまこう 育てよう	25
☐ 水に触れて遊ぼう	26
☐ 見つけよう! 捕まえよう! 飼ってみよう!	27
☐ 採ってみよう! 遊んでみよう! 食べてみよう!	28
☐ しりとり遊びをしよう	29
☐ 秋の自然物で遊ぼう	30
☐ 郵便ごっこをしよう	31
☐ すごく遊びをしよう	32
☐ 自分の名前を書いてみよう	33
☐ 学校ごっこをしよう	34

活 動 名	手洗い・うがいをする	
ね ら い	◎手洗い，うがいの大切さに気付く。 ◎手洗い，うがいの正しいやり方を知り，ていねいにまねしようとする。	
環 境 構 成	◆絵本やイラストなどを使い，手や喉には，ばい菌がいることを分かりやすく知らせる。 ◆手洗いやうがいのやり方や流れが分かるよう，イラストや写真を使い知らせ，見ながらできるよう掲示しておく。 ◆楽しく様々な部位の手洗いができるよう，歌や音楽を活用していく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
① 絵本やイラストを見る。 ② 手洗い，うがいの大切さや必要性を考える。 ・体の中に，ばい菌が入って病気にならないように手を洗う。 ・きれいな手で食べると気持ちがよい。など ③ 手洗い，うがいのやり方を知り，実際にやってみる。 ・手洗いの仕方を，保育者を見ながら真似て手を動かしてしてみる。 ・うがいには「ぶくぶくうがい」と「がらがらうがい」があることを知り，口を動かす。 <手洗いのやり方> 		◇手洗いの必要性に気づけるよう，手にばい菌がついているイラストを見たり，絵本を見たりする。 ◇手洗い，うがいは何のためにするのか気づけるよう，幼児と一緒に考え，大切さに気づけるようにする。 ◇保育者が実際に手洗い，うがいのやり方をやって見せる。 ◇手洗い，うがいの絵や写真を見たり，音楽を聞いたりして，進んで取り組めるようにする。 ◇うがいは用途によって2種類があることが分かるよう，使い方と理由を知らせていく。 <うがいのやり方> 

活 動 名	歯磨きをしよう	
ね ら い	◎歯を大切にしようとする気持ちをもつ。 ◎歯を清潔にするため歯磨きの大切さに気付く。	
環 境 構 成	◆自分の歯について考えるきっかけになるように、歯科検診や虫歯予防デーなどの機会を逃さず活かしていく。 ◆歯磨きの大切さや必要性がわかるような絵本やシアターなどを用意する。 ◆歯の部位ごと（上、前、裏）の磨き方が分かるように、歯の模型やイラストなどを用意して知らせる。 ◆しっかり磨くことができるように、用意した歯磨きの音楽に合わせたり、保育者の真似をして磨いたりする。 ◆歯ブラシの持ち方や歯ブラシの毛が広がっていないか確認する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
① 歯磨きをする理由を考える。 ・虫歯にならないようにするため。 ・食べられなくならないため。 ② 自分の歯磨きについて振り返る。 ・朝、昼、夜歯磨きをしているか。 ・自分でしっかり磨いているか。 ・仕上げ磨きをしてもらっているか。 ③ 歯磨きの仕方を確認する。 ・すべての歯にブラシが当たると良い。 ・歯の裏側も気を付けて磨くと良い。 むしばいきんをやっつけよう！ ④ 実際に磨いてみる。 ⑤ 口をゆすぐ。 ⑥ 毎日の歯磨きで、磨き方を確認しながら丁寧に歯を磨く。（歯を大切にする。）		◇なぜ歯磨きをする必要があるのかを一緒に考え、気づくことができるようにする。 ◇歯磨きを朝、昼、夜行っているか、歯磨きは自分でしなければいけないことと分かっているか確認する。 ◇どのように磨くと歯の汚れが落ちるのか、どこに汚れが残りやすいのかなどを知らせていく。 ◇保育者が一緒に磨きながら、磨き方や歯ブラシの持ち方などを確認する。 ◇口のゆすぎ方や歯ブラシの洗い方を知らせる。 ◇歯を大切にすることがもてるよう、知らせていく。

活 動 名	排泄の仕方をおぼえよう	
ね ら い	◎排泄後の始末が、自分でできるようになる。 ◎トイレをきれいに使おうとする。	
環 境 構 成	◆上靴や、スリッパの置く場所が分かるように、目印を貼る。 ◆トイレの使い方の絵表示を貼る。(トイレットペーパーの長さが分かるようにする、和式トイレの使い方を知らせるなど。) 和式トイレ表示↓ トイレットペーパー表示↓ スリッパ表示↓ 	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○トイレや便器の使い方をみんなで確認する。  ○事後には手洗いをしっかりする。 ○排泄時間について考える。		◇きれいなトイレの使い方について、みんなで考える機会をもつ。 (脱いだ上靴やスリッパを揃えるなど、何のための行動なのか約束の確認をする。) ◇男児は立ち小便器を使えるように、立ち位置や、ズボンのおろす位置を知らせていく。 ◇女児は、尿・便共に前から後ろに向かって拭くように伝え、徐々に自分で見守るように見守る。 ◇トイレットペーパーの使い方や長さが分かるように、個室に絵カードなどで分かりやすく掲示しておく。 ◇排泄後の手洗いの大切さに気づかせていく。 ◇大便是、朝済ませてくれることが良いことを保護者にも知らせる。 ◇小学校では、休み時間を利用して排泄を済ませておくこと、大便秘したいときは我慢せずに声に出して知らせることなどを伝え、小学校生活に安心感を与えていく。

活 動 名	衣服の着脱をしよう	
ね ら い	◎自分で着脱できるようになる。 ◎身だしなみを自分で整えようとする。	
環 境 構 成	◆客観的に自分の姿が分かるように、鏡を準備する。 ◆着脱が分かりやすいように、絵表示などを掲示する。  上の服の着方 ①服のすそを持ち上げて 頭を入れる ②片方ずつ手を入れて すそを引っ張る ◆着替えの時間やスペースを確保する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○自分で着脱をする。 ○身に着けた衣服は、整っているかを確認する。 ・下着が出ていないか。 ・裏返しや前後ろが逆になっていないか。 ・靴下は、きちんと履けているか。 ○登園したら、自分の持ち物の始末をする。 ・決められたロッカーに片付ける。 ・上着や帽子などをフックにかける。 ・必要に応じて着替えをする。		◇自分で着脱ができるように、脱ぎ方や着方について丁寧に知らせていく。  ◇客観的に自分の姿がわかるように、鏡に映して点検できるようにする。 ◇できた時は、大いに褒めたり、認めたりして自信をもてるようにする。 ◇持ち物の始末ができたかを確認する。できていないことがある時は、声掛けをしながら習慣づくようにしていく。 ◇衣服の汚れに気づいたり、気温などに合わせて調節したりできるように伝えていく。

活 動 名	服のたたみ方・入れ方を確認しよう！	
ね ら い	◎服のたたみ方や、しまい方について知る。 ◎表示や写真を見ながら、服のたたみ方を確認し、自分で意識するようになる。	
環 境 構 成	◆着替え用かごや着替え袋への服の入れ方の良い見本と悪い見本を見せ、どのように服を入れておくべきか考えていけるようにする。 (例として) ◆服のたたみ方を表示し 目で見て分かりやすい ようにする。 (実物・写真など) ふくの たたみかた	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○自分の着替え用かごや着替え袋を見してみる。 ○友達のかごや着替え袋を見比べ、どのように入っているか見てみる。 ・たたんで入れることに気づく。 ・裏返った服がないことに気づく。 ・服の上下、下着、靴下等、分かれて入っていることに気づく。 ○きれいにたたむ方法を確認する。 ・たたみ方の表を見たり、保育者のたたみ方の見本を見たりして、たたみ方を確認する。 ○実際に自分の着替え用の服を使ってたたんでみる。 ・たたみ方の表示を見たり、保育者のたたみ方の真似をしたりしながら一緒にたたんでみる。 ○かごや着替え袋に整理しながら、たたんだ服を入れてみる。 ※日常の着替えから ※日常の生活から		◇どのように服が入っているのか、幼児の気づきを聞きながら、進めていく。 ◇たたみ方を表示し、目で見てわかりやすいようにする。 ◇保育者も実際にやって見せ、目で見て具体的にわかりやすいようにする。 ◇きれいにたためた姿を認める声掛けをして自信につなげたり、自分もやってみようと思えるようにしたりする。 ◇どのように入れたら使いやすいか、幼児が自分の思いや考えを話したり、話し合ったりするなどして一緒に考えていく。 ◇パジャマに着替える、汚れた服を着替える、身体測定の時などたたみ方を意識できるようにしていく。 ◇遊びの中で、人形の服をたたむなどしてたたみ方を意識できるようにしていく。 ◇定期的に着替え用かごや、着替え袋と一緒にチェックする時間を設け、きれいに入っているか確認することで、きれいに入れる習慣が身に付くようにする。

活 動 名	ロッカーの整理をしよう	
ね ら い	◎整理整頓の仕方を知る。 ◎ロッカーを整理すると気持ちが良いことに気付き、整理しようとする。	
環 境 構 成	◆物をきれいに整えて入れている写真と、物がきちんと入っていない写真を見せ、どちらが良いか考えられるようにする。 ◆写真や絵などで見本を表示して、物の置き場所が分かるようにしていく。 (カバンや帽子等の置き場所も含む。)  ロッカー  道具箱	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○クラスでロッカーの使い方について話し合う。 ○自分のロッカーの中はどうなっているのか、持ち物を見直す。 ○自分のロッカーを整理して片付ける。		◇クラスの集まり時に、ロッカーの使い方について、みんなで考え合う機会を設ける。 ◇ロッカーの整理の仕方について幼児が気づいたことを受け止め、みんなで話し合えるよう仲立ちしていく。 ◇どんな入れ方なら、見やすく使いやすいか、また使った物を元に戻すことの大切さに気づけるように、一緒に考えていく。 ◇自分の持ち物がしっかりしまっているかなど、物の丁寧な始末の仕方にも気づけるように声掛けしていく。 ◇片付けたロッカーを見て、使いやすい、持ち物が分かりやすいことに気づけるよう声掛けし、気持ち良さを感じられるようにする。 ◇片付けを行った後も、日々整理する様子を見守り、必要に応じて声掛けを行っていく。
※道具棚、おもちゃ棚、本棚などの整理をする。		◇みんなが使う共通の場所も、整理しようとする意識を高めていく。 ◇次に使う人のことも考え、整理して片付けようとする意識を高めていく。

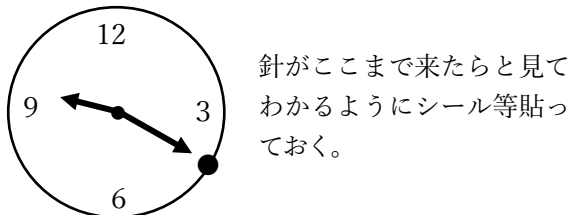
活 動 名	靴の履き方・脱ぎ方・揃え方
ね ら い	◎靴の正しい履き方, 脱ぎ方, 揃え方を知る。
環 境 構 成	◆靴の置き方の表示を出しておく。 ◆靴を取り出しやすい置き場を考えるようにする。 ◆正しい靴の履き方, 脱ぎ方, 揃え方に気づけるような絵表示を用意する。 (例, ○×クイズ形式で知らせるなど。) 靴を揃える どちらの履き方がいかな? どちらの揃え方がいかな? 
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
〈靴の履き方〉 ○自分の靴を履く。 ・靴を静かに地面(床)に揃えて置く。 ・靴のかかとを指で押さえ, 足のかかとをしっかりと靴の中へ入れる。 ・両足きちんと履いてから歩き出す。 ○靴の履き方はどうかを見る。 ○かかとを踏んだり, 左右を履き間違えたりしてはいけないのはなぜかを考える。 〈靴の揃え方〉 ○靴箱の靴がどうなっているか見に行く。 ○どういう置き方がふさわしいかを考える。 ・かかとを揃えて置くことに気づく。 ○靴箱の靴を整えてみる。 	◇かかとを踏まず, 正しく履いているかを確認する。 ◇左右の履き間違えがないか確かめる。 ◇立ちながら靴を履く意識がもてるようにする。 ◇かかとを踏んだり, 左右を履き間違えていたりすることがあったら, どうしたらよいかを考えていくようにし, 安全面に気づけるようにする。 ◇継続して正しく靴が履けているか確認していく。間違っている時は, 幼児に気づかせるような声掛けをする。 ◇外靴は, 脱ぐ時, 靴底に付いた土・砂などを払う事や, マジックテープをはがし, 脱ぎやすくしてから靴を脱ぐなど知らせる。 ◇自分の靴箱にきちんと入っているか, どうなっていたらきれいに見えるのかを, 考えられるように声掛けする。 ◇みんなと確認すると共に, 毎回揃えて靴箱に入れるよう意識できるようにする。

活 動 名	あいさつをしよう	
ね ら い	◎気持ちの良い挨拶の仕方を知る。 ◎時間によって挨拶が変わることに気づく。	
環 境 構 成	◆保育者と幼児一人一人が、顔を合わせることができるように対面に立つ。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
① 朝の挨拶をする。 「おはようございます。」 ② 今朝、この挨拶をどの場面でしたのか、考える。 ③ 基本的な挨拶の仕方を知る。  ④ 実際に友達同士で行ってみる。 ⑤ 他にはどんな挨拶があるのか考える。		◇しっかり一人一人の顔を見て、元気な声で挨拶をする。 ◇朝起きてから、家の人に挨拶をしたかを確認する。 ◇みんなで挨拶するだけではなく、個人対個人とするものでもあることに気づかせる。 ◇最初は保育者がやって見せる。 1. 正面を向いて 2. 止まって 3. 相手の顔を見て 4. 「おはようございます。」と言ってから腰から礼をする。 ◇一つ一つ確認しながらおこなうようにする。 ◇一日を通し、時間や場所、場合によって挨拶が変わることに気づかせる。(おはようございます、こんにちは、こんばんは、さようなら、おやすみなさい、いただきます、ごちそうさまなど) ◇日常的に挨拶の習慣化を図っていく。

活 動 名	箸を正しく持って使ってみよう	
ね ら い	◎箸の正しい持ち方や使い方を知る。	
環 境 構 成	◆箸の持ち方のイラストや、ポスターを掲示する。 ◆箸の持ち方の練習をしてみる。 ・つかみやすいスポンジ、ひも、デコレーションボールなど柔らかい素材の物や、取り分けられる皿などを用意する。 ・持ち方が安定し、上手につかめるようになってきたら、豆やマカロニなど硬い素材の物を用意する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
①正しく持つことの良さや手順の話を聞く。 ②箸を鉛筆のように握る要領で1本だけ持つ。 ③1本の箸を上下に動かしてみる。 (数字の「1」を書くイメージで) ④慣れてきたら2本で持ってみる。 ・箸を動かしてみる。 ⑤箸を使っていろいろな物を器から器へ運ぶ。		◇箸を正しく持つときれいに食べられることを知らせる。 ◇箸の長さや細さに慣れていけるようまずは、1本で持つよう知らせる。 ◇箸を挟んでいる人差し指と中指を動かすなど具体的に知らせる。 ◇一人一人できているか確認し、保育者が手本を見せたり、間違っている時は手を添え直したりして感覚をつかめるようにする。 ◇箸でつかみやすいように柔らかな物から挑戦し、慣れたら豆のようなつかみにくい物にも挑戦できるようにする。 ◇途中で落としてしまう子には、親指、人差し指、中指で箸を持っているか、力の入り具合はどうか確認できるように声掛けする。 ◇家庭と連携して進めていけるよう保護者へ正しい箸の持ち方の手順やイラストを描いた便りを配布する。

活 動 名	食事のマナーを覚えよう	
ね ら い	◎食事のマナーがわかり、楽しく食事をする。 ◎正しい姿勢で、落ち着いて食事をしようとする。	
環 境 構 成	◆正しいご飯や汁物、副食の配置を提示しておく。 ◆正しい座り方のイラストや、食品三大栄養素のポスターなどを掲示しておく。 ◆食事中、テーブルが汚れたり食べ物を落とした時は、自分で拭いたり拾ったりできるように、テーブル拭きや雑巾を決まった場所に用意しておく。	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○食事のマナーや姿勢についてみんなで意見を出し合う。 ・挨拶をする。 ・大声を出したり、歌ったりしない。 ・立ち歩かない。 ・正しい姿勢や箸（スプーン）の持ち方、食器の配置を知る。 ○椅子の座り方や姿勢について見直す。 ・隣同士確認し合う。 ・鏡で自分の姿を見る。 ○正しく座ってみる。 ・椅子の奥深くに腰を下ろす。（ぎゅっ） ・足を床にくっつけておろす。（ペタ） ・背筋を伸ばす。（ピン） ・机との距離は、にぎりこぶし1～2個分 手は膝の上。 ○正しい箸の持ち方や姿勢、食べ方などを意識しながら食事をする。 ○食べ終わったら口の周りや手、テーブルなど汚れていないか確認し、きれいにする。	◇保育者同士で食事のマナーについて確認し合う。 ◇保育者同士で食事のマナーについて確認しておく。 ◇食事の時を振り返りながら、マナーについて知らせていく。 ◇言葉だけで知らせるのではなく、自分の目で姿勢を確認できる機会を設けていく。 ◇正しい姿勢で座ると、長時間座っても疲れないことを知らせる。 ◇一人一人の座り方を確認し、手を添えて直すなど働きかける。 ◇日頃から、背もたれの無い椅子を活用したり、自分の体をしっかり支えたりする活動を行う。 ◇箸の持ち方、食器の扱い方、姿勢等、一人一人の様子について把握し丁寧に知らせていく。 ◇「いいにおいだね」「今日のご飯は何かな」など、幼児が食べたい言葉掛けをする。また、献立を掲示するなどして、食事への興味をもたせていく。 ◇マナーを守りながら食べることや、食事の準備から片付けまで清潔に整えることで、自分も周りの人も気持ち良いことを感じ取れるようにする。 ◇箸の持ち方、園で行っていることをイラスト入りの便りで伝え、家庭の協力をあおぐ。	

活 動 名	生活リズムを整えよう	
ね ら い	◎生活の中で時間が分かり、生活リズムの大切さを知る。 (早寝・早起き・朝ごはん) ◎生活リズムを意識して、過ごそうとする。	
環 境 構 成	◆早寝早起き朝ごはん(睡眠, 食事)の大切さを示す絵カードや絵本などを用意しておき、生活リズムを整えることの大切さに気づけるようにする。 (就寝→起床→朝食…元気に過ごせる。) ◆保護者とも生活リズムについて情報を共有し、園と家庭とが一緒に進めていけるようにする。 早寝早起き げんきいっぱい 朝ごはんを食べる時間 	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○絵カードや写真などを見ながら、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを知る。 (食事や睡眠をしっかりすることで、元気に生活できることを知る。) ○起きる時間や寝る時間について考える。 時計を見ながら、寝る時間や起きる時間などを確認し、意識する。 ○食事の大切さを知る ・どんな食材が体に良いか考える。 ・朝ごはん(ごはん・味噌汁…) ・昼ごはん(ごはん・野菜…) ・夜ごはん(ごはん・肉…) ○栄養のバランスを考える。 ・主食, 主菜, 副菜をとる。 ・黄色(エネルギー) ごはん, パンなど。 ・赤(体をつくる) 卵, 肉, 魚, 牛乳 など。 ・緑(体の調子を整える) 野菜, 海藻, 果物など。 ○決まった時間に排便する。		◇絵カードや写真などを活用し、「早寝早起き朝ごはん」がしっかりできているか、どんな効果があるかなどを幼児と一緒に考えていく。 ◇十分な睡眠時間がなぜ必要なのかを知らせ、寝る時間や起きる時間を意識できるようにする。 (睡眠や体を休養させることで元氣を取り戻したり、身体の成長を促したりすることができる。) ◇なぜ食事が大切なのかを知らせ、しっかり食事をとることや様々な食材を食べられるようにしていく。 (朝ごはん) 1日の始まりで元氣の素を作る。 (昼ごはん) 午前中活動し、午後に向けての活力を得る。 (夜ごはん) 1日の疲れを栄養で補い、次の日への活力となる。 ◇生活リズムが整えると排便がスムーズになることを知らせる。

活 動 名	時計をみて生活をしよう	
ね ら い	◎生活の中で、めやすとなる時間に気づく。 ◎時計を見て、行動しようとする。	
環 境 構 成	◆時の記念日等をきっかけにしたり、時計にまつわる絵本を用意したりし、時計や時間に興味をもてるようにする。 ◆針、秒針の動きなどで時間の流れが感じられるように、アナログ時計を準備する。  ◆園の生活の流れに沿った掲示物を用意し工夫して知らせ時間を意識して行動できるようにしていく。 きょうのよてい（スケジュール） ①たいそう  ②うたをうたう  ③そとであそぶ  ③きゅうしょく 	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○時間、時計に関心をもつ。 ・時間、時計にまつわる話を聞く。 ・時計の制作をする。 ○1日は時間の流れに沿って過ぎていく事を知る。 ・時間にまつわるクイズを楽しむ。 (例：何時になったら、給食を食べるのでしょうか?)		◇時計にまつわる話などを通して、時計に興味をもてるよう工夫する。 ◇何時になれば、何をするという毎日のタイムスケジュールが理解できるようにしていく。 ◇幼児が時間の流れを感じながら生活できるように、保育中にも時計を見せながら時間を意識できるような言葉掛けをする。 ◇本当の時計の針と手作り時計の針が同じように示すようになるまでという意識がもてるよう、見比べながら活動できるようにする。

活 動 名	指先を使って遊ぼう (折る・描く・ちぎる・つまむ・結ぶなど)
ね ら い	◎指先を使った遊びに興味をもち、楽しく取り組む。 ◎繰り返し遊ぶ中で、器用に指先を使って遊ぶ。
環 境 構 成	◆継続して遊びが楽しめるよう、毎日いくつかのコーナーを設定する。 ◆繰り返し指先を使った遊びができるように、時間や場所を保証する。 ◆幼児同士で楽しめるよう、作り方や遊び方を絵や文字で表示したり、全員で同じ経験ができるような時間を設けたりする。 ◆遊びに応じて材料を用意したり、テーブルやついたてなどを使用したり、集中して取り組める空間作りを工夫する。
幼 児 の 活 動	
○折ってみよう (折り紙、新聞紙など) ・折り紙の本や実際に折ったものを見ながら折る。 ○描いてみよう (マーカー、クレパス、色鉛筆、絵具、など) ・好きな絵 ・経験画 ・塗り絵 ○ちぎってみよう (紙、ガムテープなど) ・様々な厚さや硬さのものをちぎる。 ○貼ってみよう (のり、ボンドなど) ・シール遊び ・指のり ○編んでみよう。 ・指編み ・三つ編み ○結んでみよう。 ・りぼん ・靴ひも ○昔あそびをしよう。 ・あやとり (一人あやとり、二人あやとり) ・コマまわし (指でまわす、ひもでまわす) ・ビーズあそび ・お手玉 ・おはじき	◇幼児の様子に合わせて遊びのコーナーを作り、遊びが発展するように見守る。 ◇幼児の思いを組み取りながら遊びがマンネリ化しないよう内容を定期的に変えたり、幼児が興味をもって遊びを選択しながら遊んだりできるように、遊びの場を整えていくようにする。 ◇幼児の挑戦意欲が増すように、個人差に合わせた選択ができたり、少し頑張ればできたりするなど、満足感を味わえるものにしていく。 ◇保育者が楽しみながら遊んで見せ、興味を引き出したり、手本となったりする。 ◇指先を使った遊びについて保育者が柔軟な発想をもち、幼児の「やってみたい」気持ちを十分に受け止めていく。

活 動 名	交通ルールを意識しよう	
ね ら い	◎交通ルールや約束が分かり、守ろうとする。 ◎道路にはどんな危険があるのかを知り、気を付けようという意識をもつ。	
環 境 構 成	◆交通ルールについて、分かりやすく楽しく学べるよう絵本や模擬信号、横断歩道など用意する。 ◆交通ルールや標識などにちなんだクイズ、ゲームなどで楽しく覚える機会を作っていく。 ◆園周辺の場所を示した地図を用意したり、交通ルールについて意識できるコースを選んだりし、実践的に学べるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○交通ルールや交通安全をテーマにした絵本や紙芝居をみる。 ○園周辺の地図を見る。 ○交通ルールや道路を歩く時の約束について考える。 ・道路での歩き方 ・信号の見方 ・横断歩道の渡り方 ・標識の意味を知る。 ○散歩や園外保育に行き、確認して歩く。 ○歩く時の約束やマナー、交通ルールをみんなで話し合う。 ○交通ルールクイズやゲームをする。		◇交通ルールや交通安全について絵本や紙芝居、イラストなどで分かりやすく知らせる。 ◇地図を見ながら、危険箇所や標識・点字ブロックなどについて、知らせたり考えさせたりする。 ◇交通ルールを守る必要があるのはなぜなのか、一緒に考えることで理解を深めたり、意識して行動したりできるようにする。 ◇保育者自身が手本となる行動をとるようにする。 ◇散歩や園外保育では、幼児と確認し合いながら出かけ、繰り返し約束やマナー、交通ルールについて伝えていく。 ◇交通ルールについて、友達と一緒に遊びながら、楽しく身につけられるような機会を設ける。

活 動 名	名人さん・名物を探そう	
ね ら い	◎地域に住む名人やその土地の名物を知る。 ◎園周辺に住む名人さんや名物が分かり、関わりをもとうとする。	
環 境 構 成	◆年度初めに、職員間で園の散歩コースを実際に歩き、その地域の見所や危険個所の確認をしつつ、地域の人や名物等の情報を共有しておく。 ◆園周辺の地図を用意しておき、地域で見つけたものや興味のあるものを記入できるようにする。 ◆幼児と話し合いながら地域の地図を作成する。 ◆散歩で新たな発見があれば書き足していけるようにしていく。 ◆事前に地域の方と関係を作っておき、いつでも連絡が取れる環境を整えておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○散歩に行こう！（各季節） ・自然物探し ・新しい道の探検 ・地域の名物探し ・地域の方との関わり ○話し合おう！ ・散歩で見つけたもの ・出会った人 ・どこで見つけたもの？ ○地図を作ろう！（季節の変化に応じて） ・園の周りには何がある？ ・誰と出会った？ ・絵を描く。 ・地図に貼ってみる。 ・みんなで地図を見合いながら振り返りをする。 ○もっと探そう！ ・〇〇さんに会いに行こう！教えてもらおう！ ・地域の名物をもっとみてみよう。 ・名物を使って作ってみよう。遊んでみよう。		◇幼児の発見や気づきに共感し、同じ気持ちで喜んだり驚いたりし楽しさを共有する。 ◇興味をもって欲しい事柄は、幼児の印象に残るような声がけや働きかけをする。 ◇どんな小さな気づきも逃さず受け止め、共感することで、進んで話をしたくなるような雰囲気作りを大事にする。 ◇発見したものを絵にすることが難しい時には、保育者が一緒に描いたり、イラストを準備しておいたりし対応する。 ◇地域の方と関わる時には事前に連絡を取り、必要な関わりができるようにする。 ◇名物を保育の中に取り入れる方法を先々に検討、予測しておき、幼児の意見を取り入れながら上手に活用していく。

活 動 名	小学校ってどんなところ ①	
ね ら い	◎小学校は, どのような場所で何をするところなのかを知る。 ◎小学生になることを楽しみにする。	
環 境 構 成	◆小学校のイメージがもちやすいように, 小学校に関する絵本を用意したり, 写真を掲示したりして, 興味がもてるようにする。 ◆小学生と交流する際は, 学校生活や勉強, 行事などについて話してもらうなど一緒に遊ぶ機会を設ける。 ◆交流をする日が分かるように, カレンダーなどに印をつけておく。 ◆招待状を書いたり, 交流後の感想やお礼の手紙を届けたりできるよう必要な教材を用意しておく。 ◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○小学校に関する絵本や写真を見ながら, 話を聞く。 ○自分の園と小学校は, どう違うか想像しながら話し合ってみる。 ○ゲームやクイズ形式で遊ぶ。 ○仲良くなるために, ふれ合い遊びをする。 ○交流して楽しかったことを話し合う。 ○お礼の手紙や絵を描く。		◇就学への想いにはまだ, 個人差があることを踏まえ, 小学校に対し楽しいイメージがもてるよう写真や絵本, イラストなどを用いながら共有できるようにする。 ◇交流する時は, 学校の生活や勉強の様子, 行事について教えてもらい興味がもてるようにする。 ◇幼児の気持ちに寄り添いながら, 気づきや感想, 意見などを聞き, 丁寧に受け止めていく。 ◇実際に児童の話を聞いたり, 一緒に触れあったりすることで安心感をもち, 楽しみにする気持ちがわくようにしていく。 ◇楽しかったことや, 小学校についてわかったこと等を振り返り, 次の交流や小学校へ行くことに期待が膨らむようにする。

活 動 名	ハロー！ワーク(ジョブ)	
ね ら い	◎いろいろな仕事があることを知り、興味をもつ。 ◎将来の夢について、考えてみようとする。	
環 境 構 成	◆いろいろな仕事があることを、絵本やパネルシアターなどを活用し、知らせる。 ◆いろいろな仕事に興味をもてるように、仕事に関連した写真やイラスト、実物などを準備したり、掲示したりする。 ◆身近な地域の職場見学をさせてもらったり、仕事内容を教えてもらったりすることで、仕事への興味をもてるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○絵本やパネルシアターを見る。 ○どんな仕事があるのか話し合う。 ・どんな仕事があるか ・家族の仕事について ・大きくなったら何になりたいか など ○仕事クイズをする。 いろんな帽子があるね。 どんな仕事かな？ 考えてみよう！		◇絵本を読んだり、パネルシアターを見せたりするときには、幼児の表情を見ながら、ゆったりと話をする。 ◇絵本やパネルシアターの後に幼児の声に耳を傾け、気づきに共感する。 ◇幼児から出た職業を書き出すことでいろいろな仕事があることを共有していく。 ◇仕事内容についても興味をもてるように、どんなことをするのか考えられる時間を設けていく。 ◇家族がどんな仕事をしているのか聞いてみるよう話をし、保護者にも家族の仕事についても話をしてもらえるように投げかける。 ◇仕事クイズなどをしていろいろな仕事に興味・関心がもてるようにしていく。

活 動 名	地域の人と行ったり来たり（中学生・高校生・地域の人）	
ね ら い	◎地域で生活をする人と交流をもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ◎地域の人に親しみをもち、喜んで関わろうとする。	
環 境 構 成	◆地域の人（中学生・高校生・地域の方など）に、名札を付けてもらう。 ◆広い場所に集まり、お互いの顔が見えるようにし、紹介をする。 ◆遊びのコーナーがどこにあるか、地図やイラストで分かりやすく場所を示す。 ◆遊びの説明の時には、実際に物や遊び方を見せてもらう。 折り紙 絵本  塗り絵 お絵描き   ボール遊び だるまさんが転んだ かるた ふれあい遊び	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○はじめの集まり ・ 地域の人と園児の自己紹介 ○集合ゲームをする。 ○好きなコーナーへ行き地域の人と、一緒に遊ぶ。 ○地域の人に親しみをもちながら、やりたい遊びを見つけて一緒に遊ぶ。 ○おわりの集まり ・ 一緒に遊んで楽しかった感想を振り返り、次回また遊ぶことに期待をもつ。 ・ 地域の人を見送る。		◇地域の人のお話に興味をもち、保育者も一緒に楽しく参加する。 ◇地域の人のお顔と名前がわかるように、簡単なゲームをすることで、場の雰囲気や和ませるようにする。 ◇保育者もコーナーにつき、遊びを見守る。なかなか遊びに入れない幼児には、保育者が仲立ちしたり声掛けをしたりする。 ◇自分の思いや要求を言葉で伝えられるよう援助する。 ◇楽しかったことを振り返り、地域の人に親しみがもてるようにする。

活 動 名	みんなであそぼう (1) リレーごっこをしよう	
ね ら い	◎リレーの楽しさを知り，力いっぱい走る。 ◎友達と話し合いながら，リレーごっこを楽しむ。	
環 境 構 成	◆ラインを引いたり三角コーンを置いたりして，走るコースが分かるようにする。 ◆バトンは受け渡しのしやすいものを用意する。 スティック型  リング型  ◆チームごとの目印になるものを準備する。 (カラー帽子・ビブスなど) 【例】	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○チームに分かれる。 ○みんなで楽しめるリレーごっこを考える。 ○チーム内で作戦を立てる。 走る順番を決める。 バトンの手渡しの仕方を話し合う。 など ○リレーをする。 ○勝敗が決まる。 ○違うルールを考えてやってみる。 ○再度作戦を立ててリレーをする。		◇走るのが速い子，遅い子が偏らないように配慮する。 ◇走るのに，苦手意識や支援の必要な子も楽しめるリレーになるように促す。 ◇話し合いの様子を見守り，できるだけ一人一人が意見を出し，話し合いに参加できるように援助する。 ◇保育者も一緒に応援しながら，チームの友達を応援できるように働きかける。 ◇喜んだり，悔しがったりする気持ちを受け止めながら，友達の気持ちに気づけるような声掛けをする。 ◇チームの中で，走る順番や早く走るための方法を話し合えるように援助していく。 ◇次回もより楽しくリレーごっこができるように，振り返りの時間をとるようにする。

活 動 名	みんなであそぼう（２）わらべうたをしよう	
ね ら い	◎友達と繰り返し遊ぶ中で、わらべうたに親しむ。 ◎友達とふれあい、ルールを守りながら遊びを楽しむ。	
環 境 構 成	◆人形やペープサートなどを使い、保育者が歌って聞かせながら遊び方を伝える。 ◆歌詞を書いておくことで、見て確認できるようにする。 ◆ぶつからないように、広い場所で遊ぶようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○いろいろなわらべうたを知る。 ・おちゃをのみにきてください ・なべなべ ・はないちもんめ ・ことしのぼたん など ○遊びのルールや約束を知る。 ○繰り返し楽しんで遊ぶ。 ○先攻と後攻を決めて遊び始める。		◇歌のリズムに合わせて、保育者も一緒に体を動かして遊ぶようにする。 ◇手を繋いで遊ぶため、友達の手を引っ張ることのないよう約束をしておく。 ◇わらべあそびによって、動き方に違いがあることを知らせる。 ◇ルールが理解できない子や約束が守れない子には、保育者が寄り添い、一緒に楽しさが共感できるようにする。 ◇繰り返し遊んでいく中で、人数や遊び方など工夫していく。

活 動 名	発表会の準備をしよう	
ね ら い	◎友達と思いを伝え合いながら、発表会の準備をする。 ◎友達と協力しながら、一つのものを作り上げる楽しさを味わう。	
環 境 構 成	◆安心して自分の思いを話せる雰囲気をつくる。 ◆意見が出たことを、ホワイトボードにひらがなで記入していく。イメージが共有できるように、イラストも描いてより分かりやすく知らせる。 ◆幼児から出た意見を元に、材料の準備をする。筆や絵の具や新聞紙など、必要なものは事前に準備しておく。 ◆作り方が分かりやすく伝えられるように、実際に使う物を見せたり、イラストで手順を知らせたりする。 ◆制作活動は、友達と協力しながら行えるように、グループを作る。制作物に必要な物は、事前に準備しておく。 ◆十分な時間を確保し、じっくり取り組めるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○発表会に必要な物は何か、クラスで話し合う。 ・イメージを出し合う。 ○みんなで大道具や小道具を作る。 ○完成した大道具を使って劇あそびをする。		◇発表会で必要な小道具、大道具について幼児の意見を取り入れていく。 ◇自分達で作り上げる喜びを感じられるようにしていく。 ◇友達の意見も取り入れられるように話を進める。 ◇幼児同士で相談する時間を設けて、イメージが膨らむように促す。 ◇幼児同士で一緒に同じものを作り上げる楽しさや、面白さなどが味わえるように活動を進めていく。 ◇制作過程で出てきた考えや、意見を幼児と相談しながら取り入れていく。 ◇作りながら新たに出た意見も取り入れていく。 ◇みんなで一つのものを作り上げる楽しさを味わいながら、劇あそびを進めていく。

活 動 名	地域の人と一緒に昔遊びをしよう	
ね ら い	◎地域の人と触れ合って遊び、親しみをもつ。 ◎いろいろな昔遊びの面白さに気づき、喜んで遊ぶ。	
環 境 構 成	◆前日に各コーナーで使うものを準備し、設定する。 ◆それぞれの遊ぶものが取りやすいように、テーブルなどに並べておく。 ◆遊びのコーナーの部屋が分かるように、絵表示を付けておく。 ◆幼児が親しみやすいように、地域の人には名札を付けてもらう。 ◆ホールなど広い場所に集まり、昔遊びの紹介の時には、地域の人に遊びをして見せてもらう。 ◆各コーナーには保育者も必ずついて、楽しく遊べるよう安全に留意する。 ◆会にふさわしいBGMを流す。 ◆遊び場の表示 ・まり ・かるた ・長縄 ・羽子板 ・羽根 ・お手玉 ・あやとり ・こま類 ・ござ ・テーブル ・地域の人の名札 などを準備しておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○はじめの集まり ・地域の人との紹介と昔遊びのコーナー紹介を聞く。 こま回し 羽根つき お手玉 かるたとり まりつき 長縄跳び ○昔遊びのコーナーに行き、地域の人と一緒に遊ぶ。 ・ひもごま、手回しごまの回し方を教えてもらう。 ・札を読んでもらい、かるたをする。 ・一緒に数を数えながら、羽根つきをする。 ・お手玉の遊び方を教えてもらう。 ・まりつきの歌に合わせて、まりをつく。 ・数を数えてもらいながら、長縄跳びをする。  ○終わりの集まり（振り返りをする。） ・地域の人と一緒に遊んだ感想を話す。 ・昔遊びをして楽しかったことを話す。 ・遊びを覚えてもらったお礼を言う。 ・地域の人を見送る。		・地域の人から昔遊びを教えてもらうことを伝え、期待が高まるような働きかけを行う。 ・早く遊びたい気持ちを汲んで、遊びと遊び場の紹介は手短にする。 ・伝統的な遊びの由来やあそび歌に興味や関心がもてるように、分かりやすく伝える。 ・いろいろな遊びに触れられるように、挑戦する意欲を盛り上げるような声掛けをおこなう。 ・各遊び場を回りながら遊びの様子を把握し、空いているコーナーを放送で知らせるなど、混雑を緩和してスムーズに遊べるように配慮する。 ・遊びを通して、文字や数などに興味や関心がもてるようにする。 ・コーナー担当の保育者は、地域の人と幼児が楽しく触れ合って遊べるように仲立ちしたり、遊びに入れない子や迷っている子に対応したりする。 ・一緒に遊んで楽しかったことを振り返り、発表し合いながら地域の人へ尊敬の気持ちを持ち、親しみが増すようにする。 ・感謝の気持ちを伝え、今後の交流への期待がもてるようにする。

人をつなぐ

道徳・規範意識の芽生え 社会生活とのかかわり
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝えあい

活 動 名	小学校ってどんなところ②	
ね ら い	◎小学生や小学校の先生など様々な人と関わり，親しみをもつ。 ◎小学生との交流を通して，就学へ期待を膨らませる。	
環 境 構 成	◆同じ地域にある小学校に事前に連絡し，小学校訪問の事前打ち合わせをしておく。 ◆小学校から手紙や招待状などを準備してもらい，活動や遊びについて事前に期待を膨らませられるようにする。 ◆当日は，1年生との混合グループに分かれて活動をする。 ◆1年生が準備したコーナーに分かれて遊ぶ。 ◆グループの名簿，カラー帽子（当日），上靴（当日）を用意しておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○1年生と一緒に遊ぶ。 ・1年生が作ったおもちゃで遊ぶ。 ○行事に参加させてもらう。		◇小学生と園児とのやり取りを見守る。 ◇小学校に興味をもっている気持ちに寄り添い，認めていく。 ◇安心してどの園児も遊びだせるよう，保育者が寄り添い不安等を取り除いていく。 ◇1年生の学習内容に興味をもてるような声掛けをする。

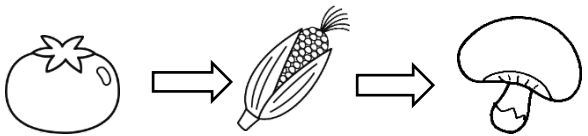
活 動 名	小学校ってどんなところ③	
ね ら い	◎小学校について知っている事を友達と話すことで、学校生活を楽しみにする。 ◎自分や友達が行く小学校を知り、入学への期待をもつ。	
環 境 構 成	◆小学校の写真や絵本などを準備しておく。 ◆学校ごっこができるような保育の準備を行う。 ◆小学校に散歩で出かけ、校舎や校庭を見たり、遊ぶ機会を設けたりし身近に感じられるようにする。 ◆小学校訪問を行う際には事前に連絡し、打ち合わせをしておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○小学校について興味をもつ。 ・絵本や写真を見る。 ・小学校はどんなところなのか、考えたり、話し合ったりする。 ・学校ごっこをする。 ○就学先の小学校について話を聞く。 ○小学校へ行く ・小学校に行き、校舎を眺めたり、校庭で遊ばせてもらったりする。 ・園バスやスクールバスなどで、就学先の小学校巡りをする。 ・交流のある小学校を訪問し、授業参観、学校探検をする。		◇小学校の写真や絵本を見せ、小学校に興味をもてるようにする。 ◇小学校のことをみんなで話をすることで、具体的なイメージをもち小学校生活を楽しみに思えるようにする。 ◇保育の中で学校ごっこなどを取り上げ、関心や期待がもてるようにする。 ◇幼児の就学先を知らせ、期待がもてるようにする。 ◇友達の就学先や一緒に行く友達を知り、安心できるようにする。 ◇散歩で学校方面に行くなど、身近に感じる機会を作っていく。 ◇授業参観や学校探検などで、どのような教室があるのか、どんなことをしているのかを見学させてもらい、小学校生活を楽しみに思えるようにする。

活 動 名	種をまこう 育てよう	
ね ら い	◎植物の栽培を通して生長過程に関心を持ち、生命の不思議さに気づく。	
環 境 構 成	◆栽培についての図鑑や絵本を準備し、植物について興味をもてるようにする。 ◆グループを作り、話し合いを行いながら育てたい植物を決め、栽培できるようにしていく。 ◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。 ◆一人一人が種をじっくり見たり、触ったりして観察できるように、容器に入れて準備をする。 ◆自分が植えたところや他のクラスの子が分かるように、目印や看板を作る材料を準備しておく。 ◆それぞれの成長が見て分かるよう、絵を描いたり、写真を撮ったりし、継続して興味をもてるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○グループを作り活動する。 ・何の植物を育てるかを決める。 ・種を観察する。 ・土づくりをする。 ・種まきをする。 ・水やりをする。 ・看板づくりをする。 ・成長の記録をとる。 ○育てた植物を飾ったり、遊びに取り入れたりする。 ○種をとる。		◇絵本や図鑑を見たり幼児の思いを汲んだりしながら、数種類の種まきができるようにする。 ◇どんな土が良いのか、固さはどうか、水やりの頻度など幼児同士で話し合ったり、家庭にも投げかけたりしながら進めていく。 ◇幼児から出てくる言葉を受け止めて共感し、他児にも知らせていくようにする。 ◇植物が成長していく中で幼児が感じ取ったことや不思議に感じたこと、疑問に思ったことを全体に投げかけていき、自分たちで調べたり、周りの人に聞いたりできるよう配慮していく。 ◇成長した植物をどこに飾るか、またどんな遊びができるか、話し合う姿を見守っていく。 ◇成長の過程を一緒に振り返り、自然物により関心をもてるようにしていく。

活 動 名	水に触れて遊ぼう	
ね ら い	◎水の感触を楽しんだり，冷たさや心地よさを感じたりしながら，幼児と一緒に水遊びを楽しむ。 ◎水の性質に気づくようになる。	
環 境 構 成	◆水温や気温・湿度に注意して行う。 ◆幼児が安全に遊べるように，水遊び周辺の安全面の確認を行う。 ◆水遊びが十分に楽しめるように，着替えの確認をしておく。 ◆使用する道具は種類ごとにカゴへ入れておき，取りやすいようにする。 ◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○水の感触遊び ・ビニール袋に入れる ・水風船で遊ぶ など ○砂場で遊ぶ。 ・泥水遊び ・川作り ・ダム作り など ○水鉄砲遊び ○色水遊び ・ジュースやさんごっこ ・染紙 など ○プール遊び ・波を起こしてみる ・浮かべて遊ぶ		◇水の苦手な幼児がいる事を踏まえ，無理なく水に触れて遊べるようにしていく。 ◇水の不思議な動きや性質に気づいたり，感触の心地よさを感じたりする幼児に共感していく。 また，その気づきやアイディアを認めながら幼児と一緒に伝えていく。 ◇幼児が遊びを進める中で，友達と役割を分担したり，協力したりできるように見守っていく。 ◇水に色が混ざりあう様子や，混色する楽しさに気づけるようにするなど，試してみようとする気持ちがもてるようにしていく。 ◇プール遊びでは，自分の動きと水の動きが連動する楽しさやダイナミックな遊びを経験させていくようにする。 ◇どのような素材が水に浮くのかなど，幼児と一緒に考えたり試したりしていく。

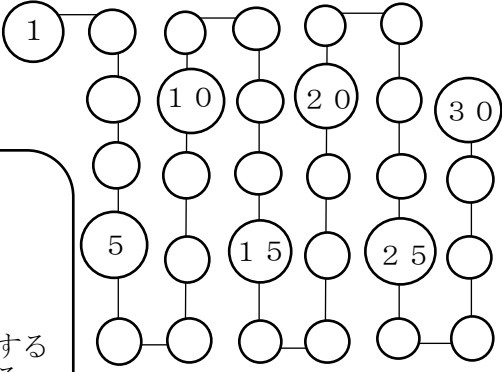
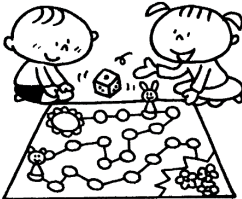
活 動 名	見つけよう！捕まえよう！飼ってみよう！	
ね ら い	◎身近な自然や生き物に，親しみをもつ。 ◎飼育を通して，生命の尊さに気づき，大切にしたい気持ちをもつ。	
環 境 構 成	◆「なぜ？」「どうして？」を自分で調べたり，考えたりできるように，絵本や図鑑を準備する。 ◆飼育ケースなどは，幼児がいつでも変化に気づけるように，目につくところに設置する。 ◆飼育に必要なものは随時準備する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○身近な生き物を見つける。 ・ちょうちゅう ・おたまじゃくし ・かえる ・バッタ ・かまきり ・クワガタ ・カブト虫 ・ザリガニ など ○生き物を観察する。 ・図鑑や絵本で生態を調べる。 ・触れてみる。 ○生き物を飼う。 ・餌をやる ・飼育ケース等の掃除 } 当番活動で行う。 ○生き物を自然に返す。		◇園庭や散歩に行った先などで，身近な自然や生き物に関心をもてるようにしていく。 ◇飼うためには何が必要か，どんな約束が必要かなども事前に話し合うようにする。 ◇保育者は，見つけた生き物を幼児と一緒に観察しながら，一人一人の気づきや驚きなどを受け止め，共感していく。 ◇飼育ケースは大きめのものを用意し，観察しやすいようにする。 ◇餌やりなどの生き物の世話は，保育者のみが行うのではなく，全員が同じ経験できるように当番活動に取り入れる。 ◇幼児の飼ってみたい気持ちを大切にすることが，本来自然の中に生息するものであることにも気づかせ，自然の中に返すようにする。

活 動 名	採ってみよう！遊んでみよう！食べてみよう！	
ね ら い	◎畑やプランターの野菜に興味をもち、喜んで収穫する。 ◎収穫した野菜の形や色，感触の違いに気づく。 ◎自分たちで採った野菜を食べてみようとする。	
環 境 構 成	◆野菜の収穫に必要なハサミ，カゴなどを用意しておく。 ◆野菜をスタンプに使用する分と食べる分に分けておく。 ◆画用紙，スタンプ台，絵の具などスタンプの材料を用意する。 ◆テーブルクロス，ランチョンマットなどを用意して，楽しい雰囲気の中で食べることができるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮・援 助
○野菜の収穫をする。 ・ハサミで切ったり，直接手でもいだりしながら収穫する。 ・採れた野菜を観察する。 ○野菜スタンプをする。 ・切られた野菜に絵の具を付けてスタンプをする。 ○収穫した野菜を食べる。 ・調理したものを友達と一緒に食べる。 ・園で調理できない場合は家に持ち帰る。 		◇安全に十分注意しながら，ハサミや手で収穫する方法を知らせる。 ◇色や形の違いなど，幼児の気づきや発見に共感していく。 ◇切った野菜の感触や，切り口の形の違いなど，幼児の発見に共感しながらスタンプが楽しめるようにしていく。 ◇自分で収穫した野菜を食べる事への喜びがもてるような声掛けなどをしていく。 ◇幼児が感じたことや食べた感想などを聞き，楽しい雰囲気の中で食べることができるようにする。

活 動 名	しりとりあそびをする	
ね ら い	◎いろいろな言葉に興味をもつ。 ◎いろいろなしりとり遊びがあることを知り、友達と一緒に楽しむ。	
環 境 構 成	◆言葉が浮かびやすいように絵カードを準備する。 ◆語尾の文字を丸で囲み、次の言葉を考えやすいようにする。 ◆初めのうちは、幼児と保育者が対面に座るが、慣れてきたら、幼児は円座に座る。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○いろいろなしりとりあそびがあることを知る。 ・なんでもしりとり ・動物しりとり ・食べものしりとり など ○しりとりルールを確認しあう。 ・同じグループの物の名前を繋げていく。 ・答えが思い浮かばないときは「パス」ができる。 ○しりとり遊びをする。 【例】(たべものしりとり)  (とまと) (とうもろこし) (しいたけ) 【例】(どうぶつしりとり)  (たぬき) (きつね) (ねこ) ・クラスでの遊びだけでなく、友達同士で遊ぶ。		◇絵カードを見せながらしりとりあそびのルールを確認する。 ◇絵カードに文字を添え、文字への関心を高めていく。 ◇遊びの中で答えが出てこない時は、パスができる事を知らせたり、ヒントを出してあげたりしながら、安心して遊びに参加できるようにする。 ◇しりとりあそびの楽しさを共有し、いろいろな場面でも遊べるようにする。

活 動 名	秋の自然物で遊ぼう	
ね ら い	◎自然物のいろいろな形や、色の面白さに気づく。 ◎自然物を使って、いろいろなものを作る楽しさを知る。	
環 境 構 成	◆園庭や園外保育で拾ってきた木の実、草の実、落ち葉、小枝などを分類して、箱などに入れておく。 ◆自然物を調べられるように、図鑑を置いておく。 ◆調べて分かった葉や実の名前を紙に書けるように紙やペンを用意しておく。 ◆カラーポリ袋、リボン、毛糸、両面テープ、ラピーテープ、セロハンテープ、ボンド、紙コップ、空き容器などの材料を用意する。 ◆幼児が遊びの中で、使いたい材料をその都度用意する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○葉や木の実を集めて遊ぶ。 ・ 拾ってきたものを分類する。 ・ 図鑑を見て調べる。 ○葉や木の実を使って、いろいろな物を作る。 ・ 葉っぱの服を作る。 ・ 楽器を作る。 ・ 装飾を作る。など ○制作物をみんなで見合う。 ・ 着てみる。 ・ 鳴らしてみる。 ・ 飾ってみる。		◇形の面白さや色の違いなど、幼児の気づきや発見に耳を傾けたり、調べたりしたことをみんなで共有していく。 ◇作り方や並べ方、貼り方など、工夫している所を具体的に認め、意欲を高めていくようにする。 ◇悩んでいる幼児には、アイディアがわくように思いを引き出していく。 ◇制作物を見せ合うために、どうしたらよいか相談して具体的に決めていく。 ◇作品を見合う場面を作り、お互いの作品を認め合うようにする。 ◇見ている幼児に、どうだったか感想を聞いたり、これからどんなふうにして遊んでいくか考えたりする。

活 動 名	郵便ごっこをしよう	
ね ら い	◎文字や数字への興味関心を深め、書くことを楽しむ。 ◎手紙をもらうことや、返事を書くなどやりとりを楽しむ。	
環 境 構 成	◆はがきや切手を十分に用意しておく。 ◆書き方の見本を用意し、見やすい場所に掲示しておく。 ◆色鉛筆やクーピーなどを準備しておき、自由に書くことを楽しめるようにする。 ◆郵便バッグを用意し、郵便の係に楽しみがもてるようにする。 ◆あいうえお表を見やすい場所に貼っておき、活動後も見ながら書けるようにする。 ◆文字や数字のスタンプも準備する。 〈裏面〉 ④ いっしょに サッカーして あそぼうね  〈表面〉 き つ て ③ ▼ ▼ より ① ☆ ☆ ▲ ▲ くん へ ② ○ ○ ぐ み	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
〈1枚目〉 ○郵便屋さんごっこについての話を聞く。 (はがきや手紙に関する絵本を見る。) ○遊び方を知る。 ①宛名を書く。 ②宛先を書く。 ③自分の名前を書く。 ④裏面は、相手への手紙や絵を描く。 ⑤切手を貼る。 ※郵便番号が書ける子は書く。 ○表、裏面を確かめて、ポストに入れる。 ○交代で郵便屋さんになり、ポストから回収し、消印(ハンコ)を押す。 ○配達する。 〈2枚目から〉 ・自分の送りたい相手に(お家の人や先生、他のクラスの友達もOK。)手紙を書く。		◇手紙をもらったから、自分も書いてみようとする気持ちをもてるようにする。 ◇手紙をみんながもらえるように配慮する。 ◇はがきの書き方やはがきを送るために必要な手順を知らせる。 ◇あいうえお表を各テーブルに置いておき、見ながら字が書けるようにする。 ◇字が書けない幼児には、保育者が薄く書いてなぞれるようにしたりスタンプを利用したりできるようにする。 ◇最初は全員に手紙が渡るように、もらえた嬉しさや書く楽しさを感じられるようにする。2枚目以降は、好きな友達に自由に書けるようにする。 ◇他のクラスに届けやすいように、クラスごとの郵便番号を幼児と話し合って決める。 

活 動 名	すごろく遊びをしよう	
ね ら い	◎友達と一緒にすごろく遊びを楽しむ。 ◎数字や数への関心をもつ。	
環 境 構 成	◆必要なものを用意する。 サイコロ すごろくの紙 自分用のコマ マーカー・鉛筆・のりなど 【指示の例】 ⑤犬の鳴き声を5回する ⑩手を10回たたく ⑮歌を1曲歌う ⑳片足ケンケン20回する ㉕保育者とじゃんけんを勝つまでする ㉟「やったー！」と言い万歳をする など すごろくの例 	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○すごろく遊びについての話を聞く。 ○友達と一緒にすごろく遊びをする。 ・すごろくの数字に止まった時に行う指示を話し合って決める。 (例) ⑩の所に止まった時は 手を10回たたくなど ○すごろくをテーブルや床に広げて遊ぶ。 ・グループ内で順番を決める。 (A, B, C, D, E…で) ルール ○4, 5人のグループを作り遊ぶ。 ①Aがサイコロを振る。出た目だけ自分のコマを前に進ませる。 ②コマが止まったところに数字があったときは事前に決めておいた指示をおこなう。 ③次にBが①と同じようにおこなう。 ④順番におこなっていく。 ⑤最後の数字で止まった子から上がりになる。 *慣れてきたら、人数を増やしても良い。		◇すごろく遊びに興味や関心がもてるように、実際にいろいろなすごろくを見せながら話をする。 ◇幼児の姿に合わせて、すごろくの内容やルールなどを設定する。 ◇友達と相談しながら、すごろく遊びを進めていけるようにしていく。 ◇早く上がった幼児には、みんなが上がるまで応援したり、見ていたりするよう声掛けをする。 

活 動 名	自分の名前を書いてみよう	
ね ら い	◎文字に興味をもつ。 ◎自分の名前に関心をもち、書いてみようとする。	
環 境 構 成	◆文字に興味をもてるように、保育室に「50 音表」などの掲示をしておく。 ◆鉛筆は握りやすい太さ、濃い芯のものを用意する。 ◆鉛筆は、指の位置が分かるように、シール等でのマーキングや持ち方を誘導する用具を準備しておく。 ◆運筆の練習用紙やあいうえおカードを準備する。…① ◆見本を見て書けるように、個人の名前カードを用意する。…② ◆必要なものを準備する。(消しゴム、鉛筆削り、用紙、塗り絵) ① ②	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○文字に興味をもつ。 ○鉛筆の持ち方を意識する。 ○手首を動かし線を描く。 ・鉛筆で線を描く。 ・塗り絵を塗る。 ○自分の名前をカードの中から選ぶ。 ・指でなぞる。 ○見本を見ながら書く。 ・なぞり書きをする。 ・見本を見て書く。		◇保育室内で、文字に触れる場面を増やしていくようにする。(掲示物・かるたなど) ◇興味をもった時に、いつでも書けるように幼児の手の届く場所に用意しておく。 ◇手首を柔らかく動かし、運筆ができるように、用紙の量を確保する。 ◇筆圧を付けられるように塗り絵なども活用していく。 ◇指などでなぞって遊べるように、文字カードは大きめにする。 ◇幼児の状態に合わせて、点線の文字をなぞりながら書いたり、見本を見て書いたりできるようにする。 ◇書けた！という喜びを大切に受け止め、自分の名前を喜んで書けるようにしていく。

自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え
思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝えあい

活 動 名		学校ごっこをしよう	
ね ら い		◎自分が行く小学校がわかり， 1 年生になることを楽しみにする。	
環 境 構 成	◆入学する小学校の写真や地図などを掲示することで，自分の通う小学校が分かり，身近に感じられるような環境を作る。		
	◆ランドセルや教科書，机，時間割，献立表などを置いたり掲示したりして，1 年生コーナーを作る。		
	◆ 1 年生コーナーはどの子も自由に見たり，触れたりできるようにする。		
	◆時間割のように次の活動が分かるよう活動内容を提示する。		
	(例)	1 じかんめ	うんどうあそび
		9：30～10：15	
		—やすみじかん—	
		2 じかんめ	うたをうたう
		10：25～11：10	
		—やすみじかん—	
ひるごはん		べんとう・きゅうしょく	
11：20～			
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○自分の行く小学校を知る。 ・自分の入学する小学校の地図や写真を見る。		◇入学する小学校や一緒に行く友達が分かることで，安心できるようにする。 また，一人しかいない幼児には新しい友達がこれからできることを知らせていく。	
○1 年生コーナーで遊ぶ。 ・ランドセルに教科書や筆記用具を入れ，実際に背負ってみる。 ・学校で使う道具や材料に触れる。 ・先生や児童役になって遊ぶ。		◇小学校生活がイメージできるよう，絵本，写真などを活用しながら，コーナー遊びを楽しめるようにする。	
○時間割があることを知る。 ・1 時間目，2 時間目，休み時間など，学校には時間割がある事が分かる。 ・お弁当や給食を食べる時間を意識する。 ・いただきます，ごちそうさまの時間を意識して時計を見ながら食べようとする。		◇ごっこ遊びをしたり，ランドセルや教科書など，小学生になったら使用する物に触れたりすることで，学校を楽しみにする気持ちを膨らませていく。	
		◇学校と同じように，活動内容や休み時間は自分の好きなことをしたり，トイレに行ったりして良いことなどを知らせる。	
		◇食べ始めや食べ終える時間が分かるように，時計の数字に印をつけ意識できるようにする。	